

懇談会委員意見一覽

【基本目標 2】

基本目標 2

(1/2)

施策	意見
施策2-1 高齢者一人ひとりが充実した暮らしを送るための環境の整備	指標③地域活動への参加状況について、社会貢献やボランティアを行う高齢者が多いため、そのような指標を入れてはどうか。
	就労から社会参加に広げたところはよいが、高齢者本人の生活の充実みたいな書きぶりになっているため、社会参加して地域を変えていくといった論調にしてほしい。 (施策2-3で障がい者の社会参加と社会活動について述べているようなイメージ)
	地域活動に参加するということだけではなく、その地域活動を区がどう下支えしていくかが重要だと思う。積極的な高齢者の方が回答したデータではなく、区民活動団体や社会教育団体、ボランティア団体等の数の推移や、参加する人たちにとってどのような課題があるのかを分析することが重要だと思う。
	めざす姿②は牧歌的すぎるので、独居の高齢者や底辺のところにいる人も、自分らしい暮らしができるように底上げをしていくという意味で、もう少し切り込んだ方がよいのではないかと。公的な施設介護には限界があるため、仕組み・体制づくりを早急に考える必要があると思う。一人暮らしでも安心なまち、独居になっても支えあうまち等はどうか。
	指標④地域密着型サービスの整備状況について、グループホームの定員数は36人増となっているが、めざす姿を保障するものとしては程遠いのではないかと。
	指標④地域密着型サービスの整備状況について、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が大田区の場合は低いと、低いことには別に理由がある。整備状況の数値で指標とするというのは違うのではないかと。
施策2-2 本人の意思に寄り添う権利擁護の推進	施策1-2や施策2-2では、相談にこちらが行くという体制を考えられている。受援力がある人はよいが、気が付いていない人や、そういった力がない人がいることを踏まえ、アウトリーチの視点を加えるべきではないかと。産後ケア等、実際にやっている事業もある。

施策	意見
施策2-4 人や地域とのつながりでお互いに支えあう体制づくり	施策の方向性⑤地域拠点の整備は、支えあいの地域を考えていく上で重要なポイントだと思う。公共施設に限らず、自治会・町会が持っている会館や商店街のレンタルスペース、企業が貸し出している場所等も含めて、整備を進めていくというイメージを持っておいた方がよいのではないかと。公共施設自体が縮小していく方向にある中で、学校施設の地域開放等に限らず、地域の方で場を提供いただける場合は、それを区としても積極的に活かしていくというビジョンを同時に持つべきではないかと。
全体	各基本目標は繋がっており、部局横断型、地域住民参加で、連携協働で取り組むことが大切だと思う。